

## 一年を振り返って



北陸信越ブロック  
代表理事  
高橋 隆幸

商青連の執行役員としてのブロック代表理事と言う重責と北陸信越ブロック会長としての重責に緊張し、務まるか最初は不安と期待で始まった感がありました。多くの人に助けられながら、なんとかゴールできる事に感謝と安堵の気持ちでいっぱいです。本当に素晴らしいご縁の数々、ありがとうございました。

楽しかった思い出が多い中、悲しく残念だった事がひとつだけあり、それは森田さんのことで、小田原での最後のあの笑顔が記憶に鮮明に今も思い出します。

一番大変だったのは、やはりブロック大会で7月ごろから9月18日19日の本番まで日々高まるプレッシャーは、人生でそう経験できないことだと感じています。

今後は多く出会いを活かし、刺激受けたことを実践に移し、商売にがんばります。

鈴木会長はじめ平成15年度役員の皆様、北陸信越ブロックすべてのYEGメンバーお世話になりました。



近畿ブロック  
代表理事  
木下 一成

近畿ブロック大会加古川大会の開催にあたり、多くのご支援をいただき、また、当日には本当に大勢のYEGの皆さんにご参加いただいたこと、本当に有り難うございました。感謝に堪えません。

さて、私自身は商青連への出向は今年も含め数年に及ぶのですが、本年度、ブロック代表理事を務めさせていただき、思いを新たにすることがあります。

それは、ブロック代表理事は、言葉は悪いですが…単なる中間管理職ではないということ。

商青連でも、会長をはじめ副会長、各委員長等の皆さんは、いわば全国区で選ばれている方々です。もちろん、その重要性は十二分に承知しておりますし、ご苦労の程も間近で拝見させていただき、本当に頭が下がる思いです。

ただ、その選任プロセスにおいてブロック代表理事というのは、それぞれの所属する地域で人選されていく特殊な役職です。文字通り、ブロックそして各地域を代表して商青連役員という職に就かせていただいている。今年度、地域の皆さんとお話をする中で、その任の重さを改めて思い知りました。

このことは、今後、各地のブロック代表理事に就く方々にも認識していただきたい。もちろん全国を束ねる商青連の役員ではあるのですが、地元・地域が貴方を支えていることを。それが、ひいては商青連という組織を力強いものにする一つの柱だと思うのです。

最後になりましたが、商青連そして全国の各単会、ご所属のメンバー各位の今後ますますの繁栄を祈念して締めのご挨拶とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。



東海ブロック  
代表理事  
伊藤 素近

商青連役員の皆様をはじめ全国の青年部の皆様方には、この1年間大変お世話になりました。

この1年を振り返りますと、スローガに掲げた“東海から・東海らしく・つなげよう「熱き地域のネットワーク」”のもと、ブロックメンバー間の積極的な交流事業を行うなど、コミュニケーションの充実を図ってまいりました。

そして、秋には東海ブロック大会松阪大会を開催することができ、ひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。ありがとうございました。

また、2005年には全国大会愛知大会の開催を控えておりますので、今後とも東海ブロックをよろしくお願い致します。